

多可町立中町中学校 いじめ防止基本方針 R6.4.2

I いじめの防止に関する基本的な方針

(基本理念)

いじめが、生徒の人権及び名誉を著しく毀損するとともに、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるばかりでなく、その生命または身体に重大な危険を生じさせ恐れがあることに鑑み、学校においては、いじめ防止のための万全の対策を講じるものとする。

(いじめの禁止)

生徒は、学校の内外を問わず決していじめをおこなってはならない。また、いじめを看過してはならない。

(学校及び教職員の責務)

- ・ いじめを「どの生徒にも、どの学級にも起こりえる」「だれもが被害者にも加害者になりえる」と考え、いじめ防止の対策を講じるものとする。
- ・ 全教職員は、全力を挙げていじめの未然防止、早期発見、早期対応、再発防止等、いじめの防止に努めるものとする。
- ・ 生徒の変化を見る目を養い、いじめの兆候を決して看過しないものとする。

II いじめ防止の基本となる事項

1 基本計画

(1) いじめをださない土壌づくり、人づくり

- ①人権教育の充実
- ②道徳教育の充実
- ③体験教育の充実
- ④特別活動の充実
- ⑤保護者や地域住民の方への働きかけ

(2) 早期発見

- ①日々の生徒の活動の観察
- ②生活ノートを活用
- ③家庭との連携強化
- ④教育相談の強化

(3) 早期解決への対応

- ①正確な実態把握
- ②指導・支援体制の確立
- ③保護者との連携の強化

(4) ネット上のいじめへの対応

- ①啓発・研修
- ②早期発見と対応
- ③関係機関との連携

(5) いじめ問題取組体制の整備

- ①「いじめ等対策委員会」の設置
- ②いじめ防止全体指導計画の作成と校内研修の実施
- ③教育相談体制の充実にむけた関係機関との連携強化

2 具体的な取組

(1) いじめの未然防止への取組

- ①すべての教育活動の中で、「いじめは、人間として絶対に許されない行為である」と生徒に理解させる。
- ②道徳教育年間指導計画に基づき、生徒の実態に合わせた道徳授業の継続実施の実践。
- ③生徒の発達段階に応じた体験活動等を体系的に展開実施する。
- ④自主的な生徒会活動の継続的实施と教職員によるアドバイスの実践。
- ⑤いじめ防止対策推進法の周知徹底を図る。

(2) いじめの早期発見への取組

- ①学級・学年・部活動等での望ましい仲間づくりを推進するとともに、生徒の日々の様子に配慮する。
- ②担任を中心として教職員は、生徒が形成しているグループや人間関係の把握に努める。
- ③年5回、学校生活相談シートを実施（内3回は保護者アンケートも実施）するとともに、年5回、「うれしかったこと困ったことアンケート」を実施する。
- ④生徒相互及び生徒と教職員のコミュニケーションの確立を図る。
- ⑤保護者と教職員の信頼関係の確立を図る。
- ⑥教育相談の充実を図る。

(3) いじめの早期解決に向けての取組

- ①いじめが予見または認知された場合は、迅速に適切な初期対応をおこない、早期解決を図る。
- ②常に被害者の立場に立った対応を心がける。
- ③学年の枠を超えた組織的な対応により、早期解決を図る。

(4) ネット上のいじめに対する取組

- ①情報モラル教育の充実に努め、インターネット社会の功罪について確かな理解を図る。
- ②携帯電話・スマートフォン等の校内への持ち込みを禁止する。
- ③携帯電話・スマートフォン・PC等の使用については、保護者の責任及び監督下でおこなわれるように、保護者への啓発活動をおこなう。
- ④情報の把握を推進するとともに、関係機関や保護者と協働して対応する。
- ⑤被害生徒・保護者への支援及び加害生徒・保護者への指導を十分におこなうとともに、事案の推移については特に継続的に注視し、再発防止に万全を尽くす。

(5) 校内組織の設置

- ①いじめ対策委員会の設置
(委員：校長・教頭・生徒指導・学年まとめ・養護教諭・関係教諭・スクールカウンセラー)
- ②いじめ等防止全体指導計画を作成
- ③校内相談体制の確立による教職員のカウンセリング技量の資質の向上を図る。

(6) 重大事案への対応

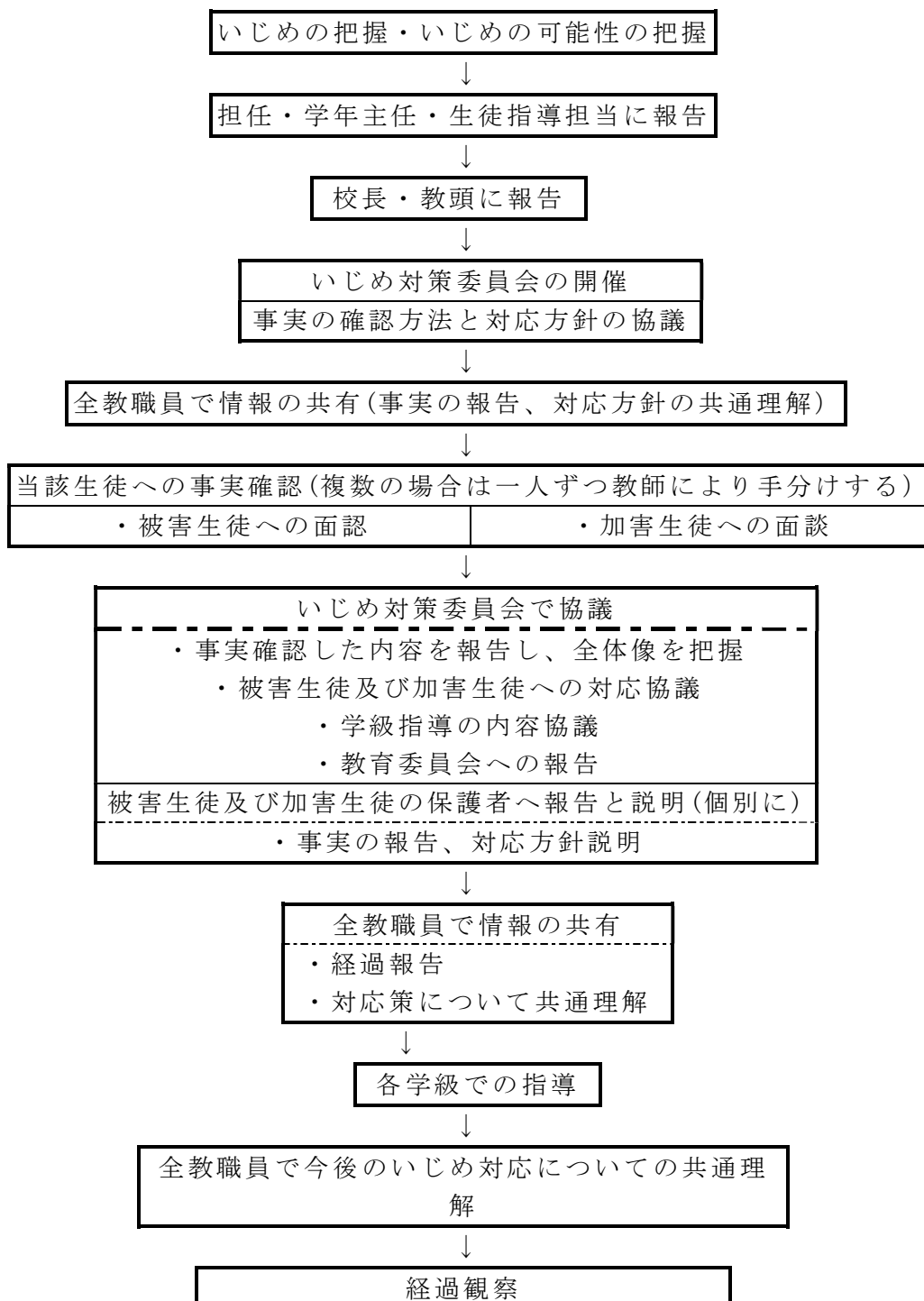
- ①すみやかに多可町教育委員会に事案発生を報告するとともに、必要に応じて専門機関や警察等、関係機関への通報をおこない、支援を要請する。
- ②被害生徒について、いじめの解決が困難な場合、または解決しても登校が困難など、学校生活に著しい支障を及ぼす場合は、被害生徒の今後について教育委員会と協議する。
- ③加害生徒について、改善が望めず被害生徒の学校生活に著しい支障をきたす場合は、加害生徒の今後について教育委員会と協議する。

Ⅲ いじめ等防止全体指導計画

	職員会議・対策会議	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4 月	<div>生徒指導委員会 職員会議</div> <div>対策会議</div> <div>必要に応じて開期催的に開催</div>	<div>・教科教育 ・道徳人権教育 ・特別活動 各部会</div> <div>保護者啓発 ・PTA 総会 ・家庭訪問</div>	うれしかったこと 困ったことカード
5 月			生活相談シート
6 月	<div>職 生 徒 研 修 解</div>		うれしかったこと 困ったことカード ストレスチェック
7 月	<div>カ職 ウ員 セ研 リ修 ン グ</div>	<div>保護者啓発 ・個別懇談 ・学校通信</div>	生活相談シート
8 月		<div>職員研修 ・人権教育</div>	
9 月			うれしかったこと 困ったことカード
10 月		<div>職員研修 ・道徳教育</div>	生活相談シート
11 月			ストレスチェック
12 月		<div>保護者啓発 ・個別懇談 ・学校通信</div>	生活相談シート
1 月			うれしかったこと 困ったことカード

2 月	職 生 徒 研 理 修 解		ストレスチェック 生活相談シート
3 月			うれしかったこと 困ったことカード

IV いじめ対応マニュアル(いじめの把握から対応まで)



必要に応じていじめ対策委員会の開催

(留意点)

- ・ いじめは絶対に許されないという強い認識に立つこと。
- ・ いじめ問題に対しては被害者の立場に立った指導をおこなうこと。
- ・ いじめ問題は学校の在り方が問われる問題であること。
- ・ 関係生徒との面談等の記録を残す。
- ・ いじめ対策委員会の協議内容・事案への対応の記録を残す。

関係機関

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ・ 多可町教育委員会 (32-2395) | ・ 西脇警察署生活安全課 (22-0110) |
| ・ 多可町青少年育成センター (32-2395) | ・ 多可町健康福祉課 (32-5151) |